

80年の平和を守る一人として

寄稿 毎月3日、国会前に立って



今年の1月3日も「NO! WAR」の言葉を掲げて国会前のデモに参加した澤地久枝さん（前列中央）

（東京都千代田区）

澤地久枝

安全保障関連法に反対して「アベ政治を許さない」のスローガンを掲げ2015年に始まった国会前のデモ。以来毎月3日、無言のデモが続けられている。呼びかけ人の一人でノンフィクション作家の澤地久枝さん(94)に、10年を迎える思いを寄稿してもらった。

25年1月3日午後1時。国会正門前の歩道を埋めた人は、250人という。

さわち・ひさえ 1930年東京生まれ。ミッドウェー海戦の克明な調査で菊池寛賞。「妻たちの二・二六事件」「密約」「昭和史のおんな」「14歳（フォーティーン）」など著書多数。護憲を訴える市民団体「九条の会」の呼びかけ人。

いつもは、100人前後の人が、思い思いの文言を書いたポスターを掲げる。黙って立つのは結構きつくて、10分たつて案内役から声がかかると、空気が緩む。こういう集いは前例がないかもしれない。女たちを中心に、毎月3日の午後1時、国会正門前でアピールしたい言葉を書いたポスターを掲げる、と決めて10年になる。

第一回は15年11月3日だった。当時の安倍晋三首相による、憲法をないがしろにする政治に反対する人たちが集った。

ちが集った。
この日、私は欠席している。長野県阿智村にある満蒙開拓平和記念館での講演の約束があつて、東京のアピールの時間には、飯田市に近いそば屋さんにいた。店の入り口の扉に「アベ政治を許さない」のポスターが何枚も貼られていて、「全国で」というアピールが実施されているのを確認する感じになった。
私たちのこの会には前段がある。同じ年の7月18日午後1時、100人あまりの呼びかけ人のもと、全国で同時に「アベ政治を許さない」と書かれたポスターを掲げた。国会前では約5千人の参加があり、歩道は人で埋まった。ポスターの文字は、俳人の金子兜太さんに書いていただいた。瀬戸内寂聴さんをはじめ、異色の呼びかけ人が名を連ねた。
私が始めた企てではない。最初にジャーナリストの鳥越俊太郎さんから電話があつた。私は「アベ政治」と刺し違えたいと思つたら、怒つていた。日米安全保障条約改定に反対した60年安保闘争のデモの記憶がよみがえつてきた。そしてこの会の呼びかけ人の筆頭になった。
7月のこの会は成功裏に終わった。政治の反応は薄かったが、やればできるという実感。そこから毎月3日の国会前のアピールが今日まで続いてきた。一人一人、誰にも強制されずに政治への意思表示をするのだ。
私は戦争に反対する。ささやかだが絶対の気持ちを持ち続けたい。
新任の首相の意思表明に「改憲」があつた。憲法によつて成し遂げられたこの80年の平和の誓を守る一人でありたい。
（ノンフィクション作家）